2025年４月28日

各　　位

会　社　名　小松ウオール工業株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　加納　慎也
（コード：7949、東証プライム市場）
問 合 せ 先　社長室長　高野　裕輝
（TEL.　0761-21-3234）

株主還元方針の変更に関するお知らせ

当社は、2025年４月28日に公表いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」及び「2025年３月期　決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載のとおり、株主還元方針を変更いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．株主還元方針の変更の理由

当社は、2023年４月に中期経営計画「NEXT VISION 2028」(2024年３月期～2028年３月期）を発表するとともに、資本効率の向上と株主の皆様への積極的な利益還元の姿勢を明確にお示しするため、配当額算定の指標として純資産配当率（ＤＯＥ）を導入し、ＤＯＥ3.0％を下限とする配当を実施することとしておりました。これにより、株価純資産倍率（ＰＢＲ）は0.5倍程度から0.7倍程度にまで改善するなど、株式市場からは一定の好感をもって受け止められていると認識しております。

しかしながら、ＰＢＲは依然として１倍を下回って推移しており、これは、当社が成長戦略を十分にお示しできていないこと、資本コストを上回る資本収益性を上げられていないことが一因であると考えております。そのため、利益成長を成し遂げるための成長戦略の追加策定を進めるとともに、株主還元を強化し純資産の増加抑制を図ることで、2028年３月期までに自己資本当期純利益率（ＲＯＥ）８％の達成を目指すことといたしました。

それに伴い、現中期経営計画期間中における配当の水準を、「ＤＯＥ3.0％を下限」から「６％を目安」に引き上げることといたします。

２．変更の内容

（変更前）

当社は、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を行うことが最も重要であると考えており、資本効率の重要性を認識するとともに、財務体質の健全性を維持した上で、純資産配当率（ＤＯＥ）3.0％を下限とする配当を実施し、持続的な成長の実現等により配当水準の安定的向上を目指すことを基本方針としております。

（変更後）

当社は、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を行うことが最も重要であると考えており、資本効率の重要性を認識するとともに、財務体質の健全性を維持した上で、純資産配当率（ＤＯＥ）６％を目安とする配当を実施すること、また、持続的な成長の実現等により配当水準の安定的向上を目指すことを基本方針としております。

※純資産配当率（ＤＯＥ）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る１株当たり配当金
／１株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

３．変更の時期

当期（2026年３月期）より適用いたします。

以　上